

郵送調査におけるいくつかのトリビア

土屋 隆裕 データ科学研究系 教授

【はじめに】

平成28年1月から3月にかけて、立川市民4,000人を対象に郵送法による「立川市住民意識調査」を実施した。返送数は3,094件(返送率77.3%)であった。本報告では、この調査を用いて郵送調査にまつわるいくつかのトピックを紹介する。

調査票は返送時にどう折るか？

調査票はA3用紙両面2枚を中綴じしたA4サイズである。同封した返送用封筒は長形3号であり、封入するには調査票を折る必要がある。

図1は、返送された調査票の折り方を集計した結果である。「山山」や「谷谷」は縦置きした調査票の表面が外側あるいは内側になるよう横に三つ折りされたものであり、「Z折り」はそれら以外に横に三つ折りされたものである。「四つ折」は横に四つ折りされたものであり、「縦」は縦と横に折られたものである。男性は女性よりも「四つ折」や「縦」が多く、女性は8割以上が「山山」または「谷谷」である。

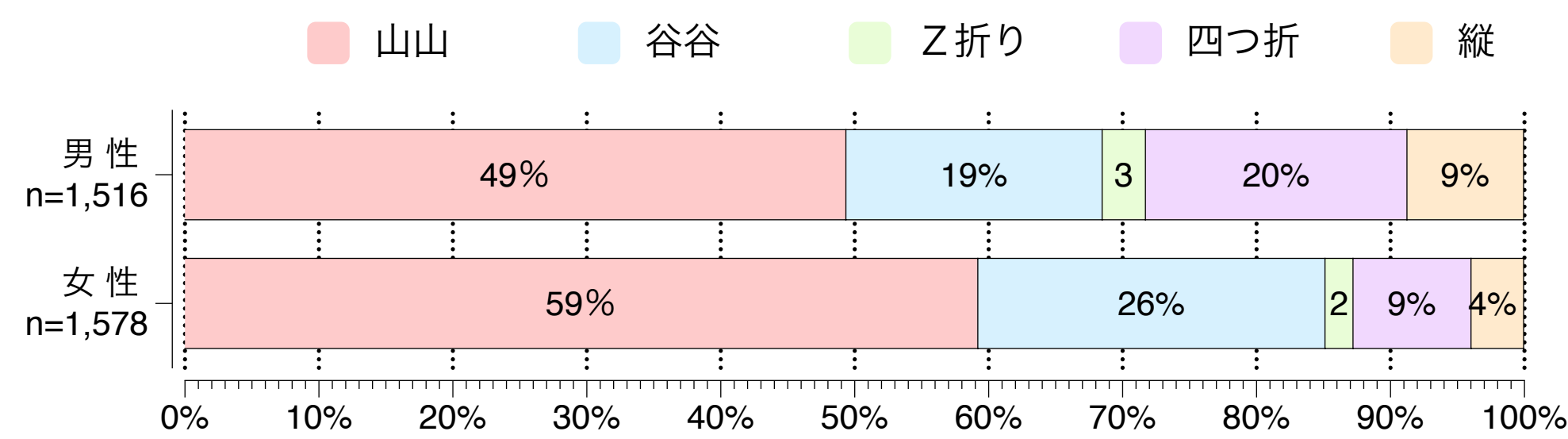


図1. 調査票の折り方 (性別)

年齢層別に見ると、図2に示すように20歳代あるいは30歳代の男性では「縦」が1割を超えており、「四つ折」と「縦」を合わせると、男性ではどの年齢層でも25%を超えている。

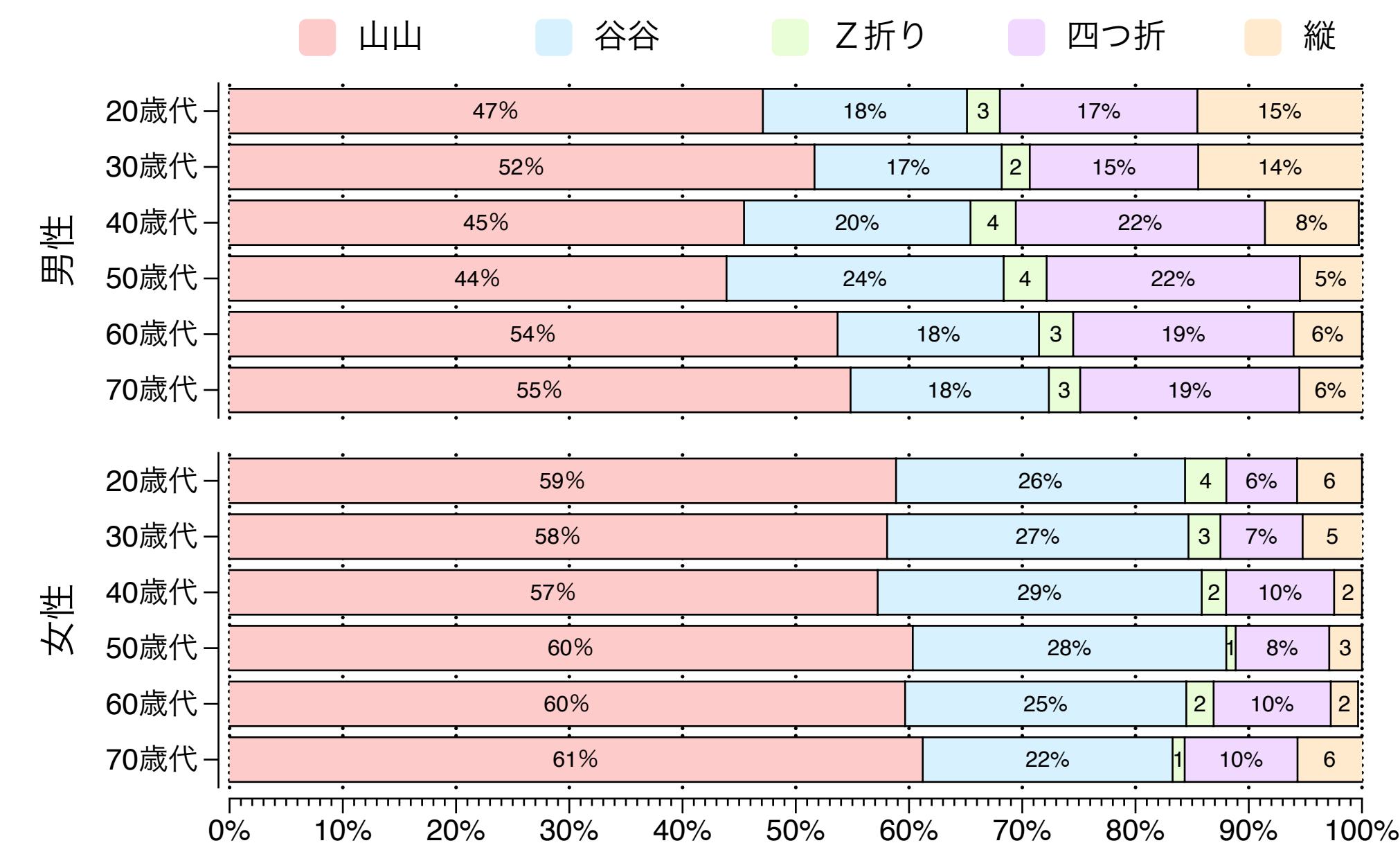


図2. 調査票の折り方 (性・年齢層別)

さらに、図には示さないが、学歴別、世帯収入別などで見ても、男性は属性にかかわらず「四つ折」あるいは「縦」が多い結果となっている。

夜間の記入者は、回答内容が暗い？

図3では、今の世の中の明るさについての評価や自身の幸福度を、回答者の記入時間帯別に集計した。記入時間帯が「0～6時」や「21～24時」といった夜間では、世の中が明るいという回答や幸福という回答は若干少ないようである。

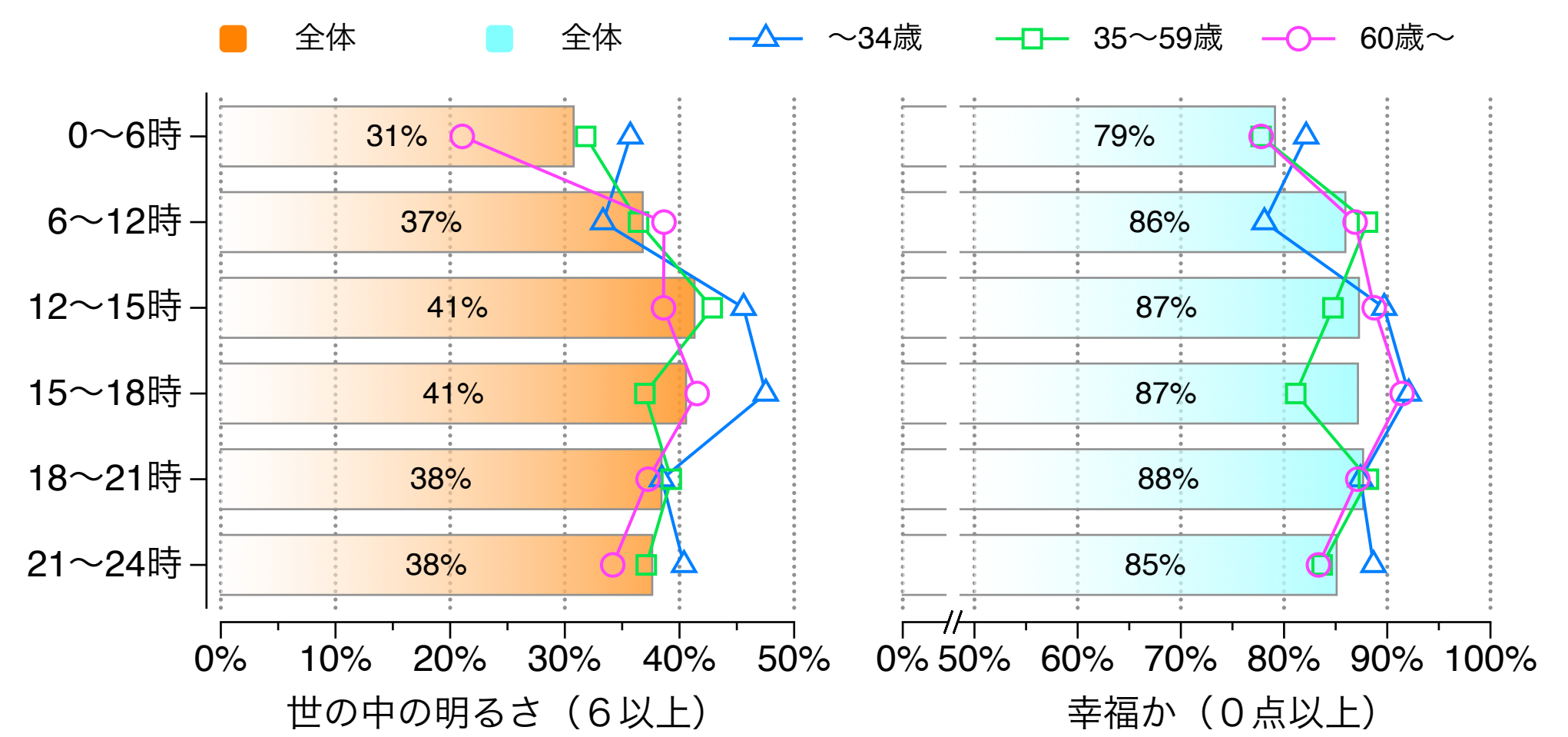


図3. 記入時間帯別集計

記入欄に「特になし」と記入する人は？

図4は、調査票の最後に立川市や調査に対するご意見を記入してもらったところ、「特になし」等といった記述があった調査票の割合を、性・年齢層別に示したものである。あえて「特になし」等と記入するのは男性に多いようである。

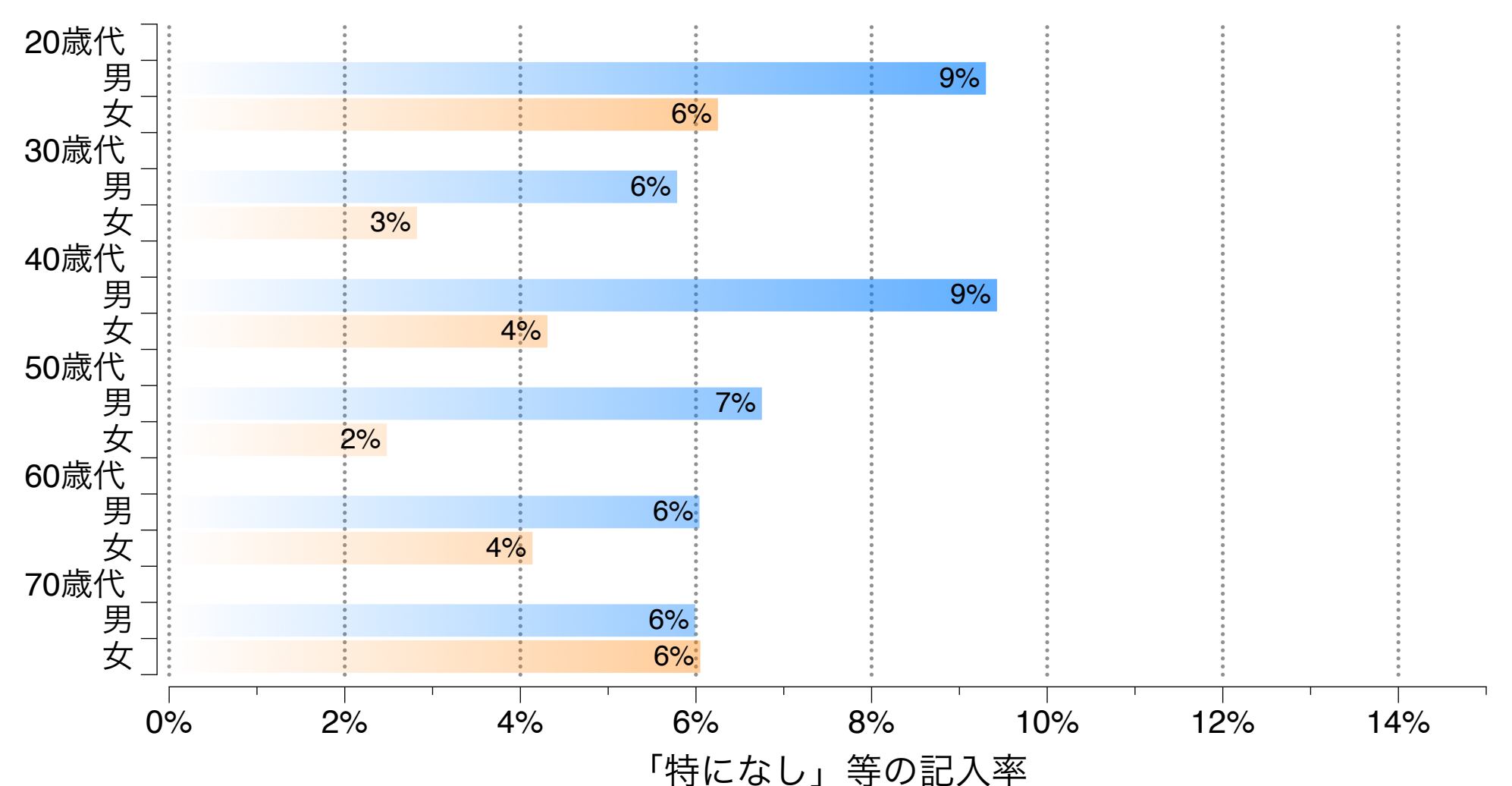


図4. 「特になし」等の記入率 (性・年齢層別)

図5は、調査協力理由別に自由記述の内容を集計した結果である。積極的な理由ほど記入が多く、消極的な理由では「特になし」等が多くなる。

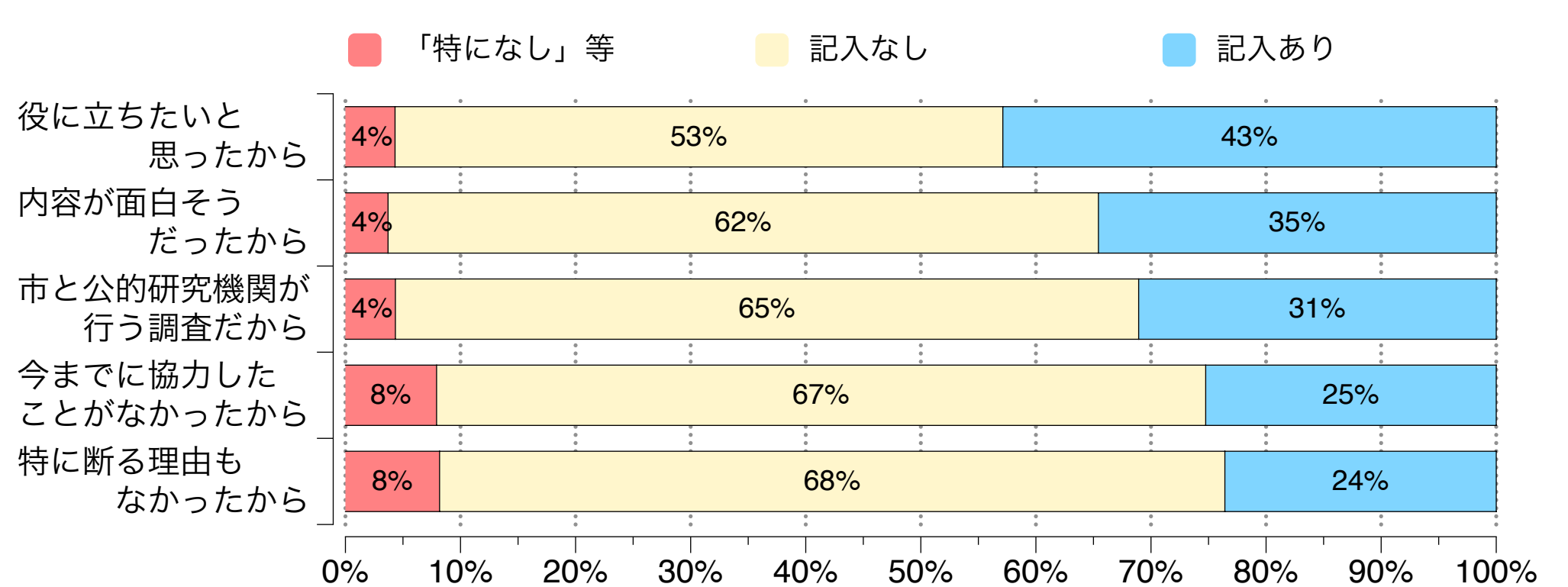


図5. 「特になし」等記入率 (調査協力理由別)